

## 閉会挨拶 岡山県済生会支部長 岩本一壽

岡山県済生会の支部長を務めております岩本です。本日は、年末の日曜日という大変貴重な時間に、会場並びにウェブの合計で 350 名を超える多数の皆様方に済生会生活困窮者問題シンポジウムにご参加いただき、誠にありがとうございました。

済生会は、ご存じのように、社会福祉法人であると同時に医療法上の公的医療機関です。今日は、どちらかといえば済生会の本来の事業である生活困窮者を支援する社会福祉の問題をテーマに挙げさせていただきました。済生会本部から、岡山中で済生会生活困窮者問題シンポジウムをやっていただきたいという依頼があったときに、何をテーマにしようかと考えた結果、8050 問題を挙げればたぶん議論が広がっていくのではないだろうかと思い、テーマに挙げさせていただいた次第です。じっと聞いておりましたが、8050 問題のみならず、生活困窮者というのはいろいろな方がいるのだと改めて私も認識した次第です。済生会は、これからもこの問題に前向きに取り組んでまいりたいと思います。

また、同時に、済生会は医療法上の公的医療機関です。公立ではなく、公的医療機関です。日赤、済生会、厚生連、北海道社会事業協会は民間の公的医療機関です。公的医療機関の使命として、5 疾病・5 事業をやっております。5 疾病というのは、心臓病、脳卒中、糖尿病、精神病、がんです。5 事業というのは、救急医療、災害医療、へき地医療、小児医療、周産期医療です。

ご存じのように、いま新型コロナウイルスが日本国中のみならず世界中で大問題になっております。まもなく第 8 次医療法改正が行われますが、この中で公的医療機関には新型コロナウイルス感染症対策が義務づけられます。すでに岡山済生会のみならず、済生会全体で新型コロナウイルス対策をやっております。岡山県済生会で申し上げますと、重点医療機関になっております。そうしますと、将来、感染症病棟を持つことが義務化されると思います。幸か不幸か、岡山済生会は外来センター病院と総合病院に分かれております。そして、総合病院から 80 床の病床を外来センター病院に移すことによって、現在、80 床空いております。新型コロナウイルスの重点医療機関となったために、いまはこの場所をコロナ専用病床として使っております。非常に効率よく使われております。こういうことを踏まえながら、これからやっていかなければならないと思います。

いずれにしましても、「あらゆる人に寄り添い、手を差し伸べ、医療、保健、福祉を皆様に提供します」というのが岡山済生会の理念です。さらに、済生会全体の理念としまして

は、ここにいらっしゃる炭谷理事長の提案で、ソーシャルインクルージョンを強力に押し進めております。本日の 8050 問題もその一環です。そして、これをかみ砕いてお考えいただけるならば、「あらゆる人々に手をさしのべ寄り添う済生の心で信頼される医療を提供します」という岡山県済生会が掲げている理念はまさにソーシャルインクルージョンにほかならないと私は思っています。ソーシャルインクルージョンは社会的包摂ですから、全部の方を受け入れるわけです。元気な人も、障害がある人も、生活に困っている人も、ひきこもりの人も、路上生活者の人も差別するのではなく、みんなで支えていこうというのが社会的包摂、ソーシャルインクルージョンです。

その精神と岡山県済生会の理念が同じであるということを皆さんにご理解いただき、今後とも済生会事業にご支援、ご鞭撻を賜りますことを衷心よりお願い申し上げ、本日のご挨拶、お礼に代えさせていただきます。本日は、貴重な時間にお集まりいただき、誠にありがとうございました。